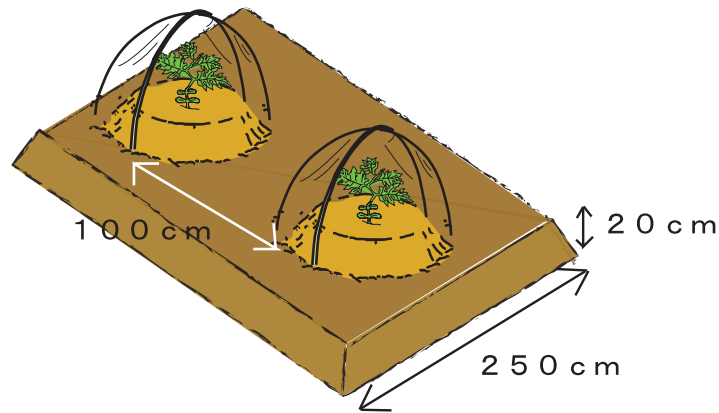


メロンの上手な作り方

1 土作り

- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

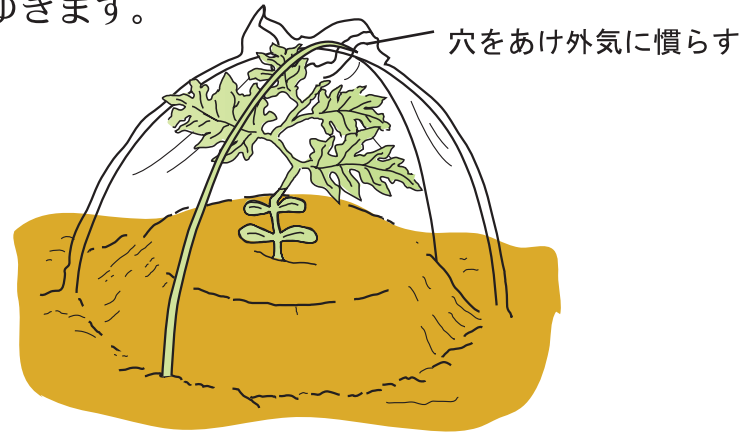


2 定植

ポイント

《ビニールを掛けて保温・保湿》

- ③4月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
- ④苗にビニールをかぶせます。苗の先端がビニールにつかえるようになったら、破って外気に慣らしてゆきます。

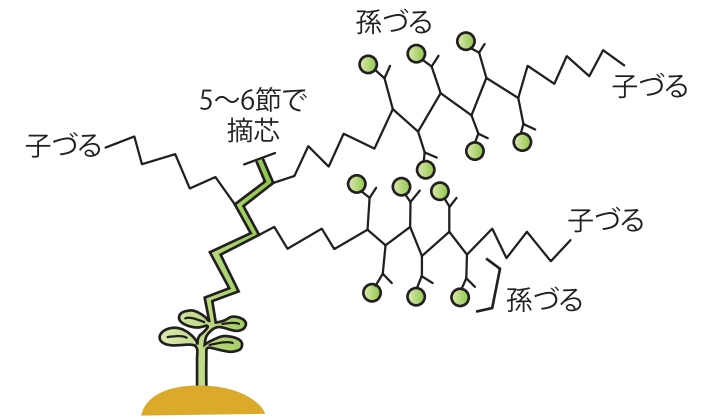


3 整枝

ポイント

《3本仕立てにする》

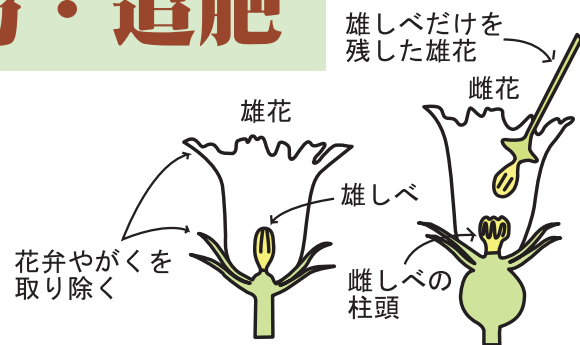
- ⑤本葉5～6枚出たところで親づるの芯を摘みます。その後生育の良い子づるを2～3本伸ばします。残した子づるの6～10節目から出る孫づる以外の雌花は早めに摘み取りましょう。



4 受粉・追肥

ポイント

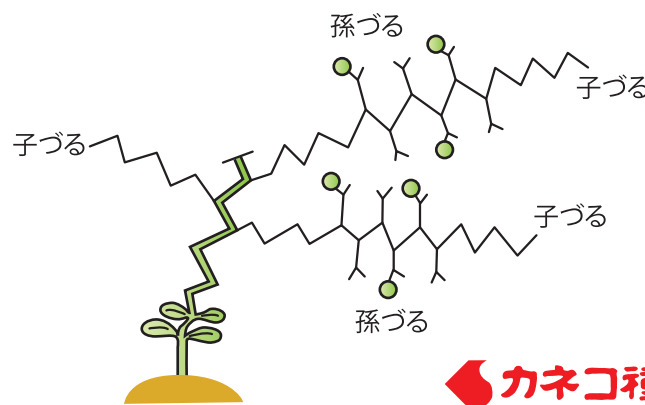
《人工授粉は早期が効果的》



- ⑥授粉します。雄花の花弁をとり、おしべの花粉をめしべの先端に付けます。結実させるのに、人工授粉が有効です。
※メロンの雌花は1日花です。咲いた日の午前が授粉作業のタイムリミットです。
- ⑦果実が卵大になったら追肥を施します。1株につき一握りの化成肥料を株の両側にすき込みます。
- ⑧つるが伸びたら、つるや果実が直接土に付かないように敷きわらをします。

5 摘果

- ⑨残した子づるから出た孫づるに着果します。1本の子づるに3～5個が着果の目安です。摘果は早めにするとういでしょう。
※ネット系のメロンは、1つるに1～2果(1つの苗で3～4果)に抑えた方がよい実が採れます。



6 収穫

ポイント

《受粉させた日付がわかるように》

- ⑩収穫の目安は開花後(交配後)35～40日です。葉の緑が枯れ出し、葉全体が黄色くなったら収穫です。果実の外観では収穫期がわからないので、受粉させた日付がわかるように札をつけておくと良いでしょう。

